

休日出勤を解消せよ！ 新幹線3泊、在来線1～2泊

「平成26年度要員計画について」業務委員会開催

本日本部は、「平成26年度要員計画について」業務委員会を開催しました。毎年、この件の業務員会は休日出勤問題と、年休失効問題が議論の中心になりますが、今回も同様です。

休日出勤は、昨年度は新幹線、在来線（三重支店を除く）共に1～2泊でした。今年度の予測は、在来線は1～2泊となりますが、新幹線はなんと3泊になるというのです。その根拠は、新幹線285km/h運転の体感訓練によるものと説明がありました。しかし、訓練のためだけに休日出勤が2倍になるとは言いがたいといえます。休日出勤の増加を隠すために、体感訓練を言い出したとしか思えてなりません。

また、年休失効について会社は、「適切に対処している」だけの一点張りで、何ら誠意を示しませんでした。新幹線地本の申し入れに対する労使協議拒否の問題についても、「適切に対処している」と真摯に議論する姿勢は全くありませんでした。

一方、新幹線交番検査職場の休日の分散付与の問題についても、会社は「何ら問題はない、運用第一」と、利益優先の姿勢を崩しませんでした。

これらの問題の根源は、決定的な要員不足です。本部は、会社に対し、安全・安定輸送、社員の健康のためには適正な要員確保が必要だと強く迫りました。職場から声をあげ、要員の確保を勝ち取る闘いを展開しようではありませんか！

休日出勤も年休失効も解決する気なし！